



2019年2月版(第67号)
まちづくりNPO法人ぐるっと緑道
横浜市都筑区中川 1-18-5
フィットネスハウス パレット中川1F
発行責任者
塩入広中(090-7275-1361)
<http://guruttoryokudo.jp>

「住みやすいまち」はみんなで作る

港北ニュータウンとして開発された中川駅周辺は、緑豊かな公園、緑道、農業地域と安全な遊歩道、地区センターや地域ケアプラザの公共施設がある、子育て世代、高齢者にも非常に住みやすいまちです。

住みやすいまちは誰が作り、維持していくのでしょうか。「NPO法人ぐるっと緑道」では、少子高齢化や国や地方公共団体の多額の財政赤字、愛するまちづくりを考えますと、行政に依存するのではなく、行政とも協力し、



1/4 中川駅前クリーン作戦

住民自ら行動する必要があると考えています。

個人がマナーとして努力する事は第一ですが、住民が協力してまちを良くする活動も重要です。「町内会や自治会」での協力、公園や緑道を維持する「公園愛護会」、道路や駅前をきれいにする「ハマロードサポーター」、NPOのコミュニティカフェも住民が自主的に住みよいまちを作っている事例です。

皆さん、このような取組にちょっと参加してみませんか。参加している方は楽しく活動されています。まちづくりのボランティア活動はぐるっと緑道 HP「地域の活動団体の紹介」をご覧ください。 <http://guruttoryokudo.jp/localgroups>

自転車と人の接触事故防止策ー減速の徹底ー

1. 中川駅前商業地区の問題点

中川駅前商業地区の自転車・歩行者専用路(花と香りのみち)は、花に溢れ、車からも安全で、買い物への通行、子どもたちの集まる場所となっています。

しかし、最近、自転車が増え、坂道や駅前の歩道橋を高速で走っているため、子どもや高齢者と接触する危険性が増しています。特に、買い物をする人や子どもの多い午後の時間に「ヒヤリ・ハット体験」をされた方もいらっしゃるのではないでしょうか。是非とも、子どもや高齢者にも優しいまちを作りたいものです。

2. 安全対策テスト実施中

都筑区土木事務所と中川駅前ハマロードサポーターが協力し、1月10日(木)から商業地区の自転車・歩行者専用路に3か所、三角コーンの障害物を置き、自転車のスピードを落とすテストを実施しています。テストの効果が確認できれば、

三角コーンに代えてプランターを設置します。

3. 歩行者優先、坂道ではブレーキで減速がマナー

自転車が走れる歩道でも歩行者が優先です。自転車が人とすれ違うときには、人の歩く位のスピードに減速し、後ろから人を追い越すとき



コーンがテスト設置されたときには、急ぎ足位のスピードに減速し、声をかけましょう。

4. 地域で安全についての話し合い

ぐるっと緑道は、2月23日(土)13時~15時、中川地域ケアプラザで「人と自転車の安全対策」について住民参加の話し合いを行います。是非ご参加ください。

都市大留学生カフェで地域の国際交流

東京都市大学には、中国、ベトナム、ネパールなどから環境、都市づくり、メディア等を学びに来た多くの留学生がいます。2年前から都市大学、都筑区役所、NPO法人ぐるっと緑道が主催・企画し、「ほっとカフェ中川」で都筑区民と留学生が交流する「都市大留学生カフェ」を開催しています。

1月11日(金)、12回目のカフェが開かれ、フランス留学生

の Selim Karkour さんが「日本とフランスのロマンス」と題して、日仏交流の歴史やパリの名所を写真で説明してくださいました。20名の住民と都市大関係者で会場は満杯となり、様々な質問も出され、良い国際交流ができました。

最後に、Selim さんに感謝状と横浜の歴史本を差し上げ、御礼の気持ちを表しました。